

令和8年6月12日
教育課程部会
生活、総合的な学習・探究の時間
ワーキンググループ
小見委員ご発表資料

教育課程部会 生活、総合的な学習・探究の時間 ワーキンググループ

自分から自分らしく みんなとともに社会をつくる人を育てる



令和8年6月12日
NPO法人みらいずworks
小見まいこ

1. 教員と外部人材の役割分担

- ①学校教育目標及び学校経営方針を踏まえた総合の推進等
- ②「社会」×「子供」の関わりの在り方

2. 相互理解を促す役割について

- ③「学校」×「社会」の連携体制の在り方

3. 持続可能な資金調達について

- ⑥探究の充実に向けた費用負担の在り方

1. 教員と外部人材の役割分担

◎目的

総合的な探究の時間において、キャリア形成意識（「自らの人生をかじ取りする力」）と社会参画意識（「民主的で持続可能な社会の創り手」の高まりに影響を与える教師や外部人材などの支援者の在り方や役割を明らかにする

フィールド



新潟県立津南中等教育学校
(総合探究を6年間実施)

対象者 (計15名)



大学生 (卒業生) : 8名



教師 : 2名



外部人材 : 5名

分析方法

修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA)
プロセスと相互作用に着目して分析

【引用文献】

小見まいこ (2025) 「探究学習における支援者の役割に関する考察-中等教育学校の事例からキャリア形成意識・社会参画意識の向上に着目して-」日本高校教育学会年報、32号、pp.20-29

教師の役割：学びの「土台」と「セーフティネット」



1. カリキュラム設計

- ・総合探究を核とした、地域や社会に目が向く設計

2. コーディネート

- ・外部人材と生徒を繋ぐ

3. 伴走的支援

- ・個々に応じた適切な介入（ブレーキをかけず、失敗を許容）

4. 内省の促進

- ・キャリアカウンセリングを行い、経験を意味づける

【引用文献】

小見まいこ(2025)「探究学習における支援者の役割に関する考察-中等教育学校の事例からキャリア形成意識・社会参画意識の向上に着目して-」
日本高校教育学会年報、32号、pp.20-29

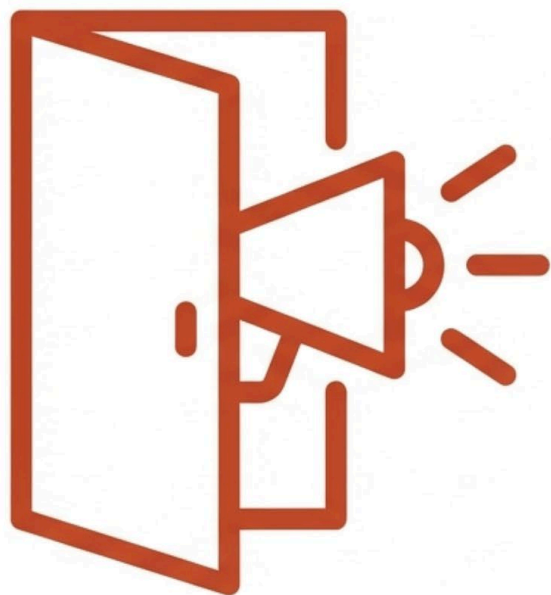
探究学習の進度に応じた伴走的支援

探究の進度	伴走的支援の内容	具体例
探究学習が進展していない段階の伴走的支援	<ul style="list-style-type: none">・課題設定の見直し・停滞の要因を解明・進捗の確認・探究の見通しや必要な情報の提示・まとめ・表現へのアドバイス	<ul style="list-style-type: none">・問題意識やテーマを問い直す・滞っている要因を聞く・どこまで進んでいるのかを確認する・ある程度ルールを敷く・プレゼンへのフィードバックをする
探究学習が自走化した段階の伴走的支援	<ul style="list-style-type: none">・主体的な実践の尊重・活動の承認や許可・目標に対する進捗管理	<ul style="list-style-type: none">・内容に関する指示をしない・イベントや商品販売に対して許可をする・発表会などのマイルストーンは示す
随時行われていた伴走的支援	<ul style="list-style-type: none">・現状や進捗を確認する問いかけ・考えがまとまらない時の言語化のサポート・頑張りが認められたときの励ましや労い	<ul style="list-style-type: none">・やる気を引き出す声かけ

【引用文献】

小見まいこ(2025)「探究学習における支援者の役割に関する考察-中等教育学校の事例からキャリア形成意識・社会参画意識の向上に着目をして-」
日本高校教育学会年報、32号、pp.20-29

外部人材の役割：社会への「扉」と「本気の対話」



1. 新たな視点の提示

専門的な見方や考え方のアドバイス

2. 実践の後押し

やってみよう働きかけ、人を紹介する

3. 対等な関係性

子ども扱いしない

4. 現実的なフィードバック

社会で求められる厳しい意見や多様な評価

【引用文献】

小見まいこ(2025)「探究学習における支援者の役割に関する考察-中等教育学校の事例からキャリア形成意識・社会参画意識の向上に着目して-」
日本高校教育学会年報、32号、pp.20-29

鍵となるスタンス：「子ども扱いしない」こと



「同志」
「対等」
「本気」



良い意味での「緊張感」と
「責任感」が生まれ、
探究学習の「自走化」へ

【引用文献】

小見まいこ(2025)「探究学習における支援者の役割に関する考察-中等教育学校の事例からキャリア形成意識・社会参画意識の向上に着目して-」
日本高校教育学会年報、32号、pp.20-29

1. 教員と外部人材の役割分担

- ①学校教育目標及び学校経営方針を踏まえた総合の推進等
- ②「社会」×「子供」の関わりの在り方

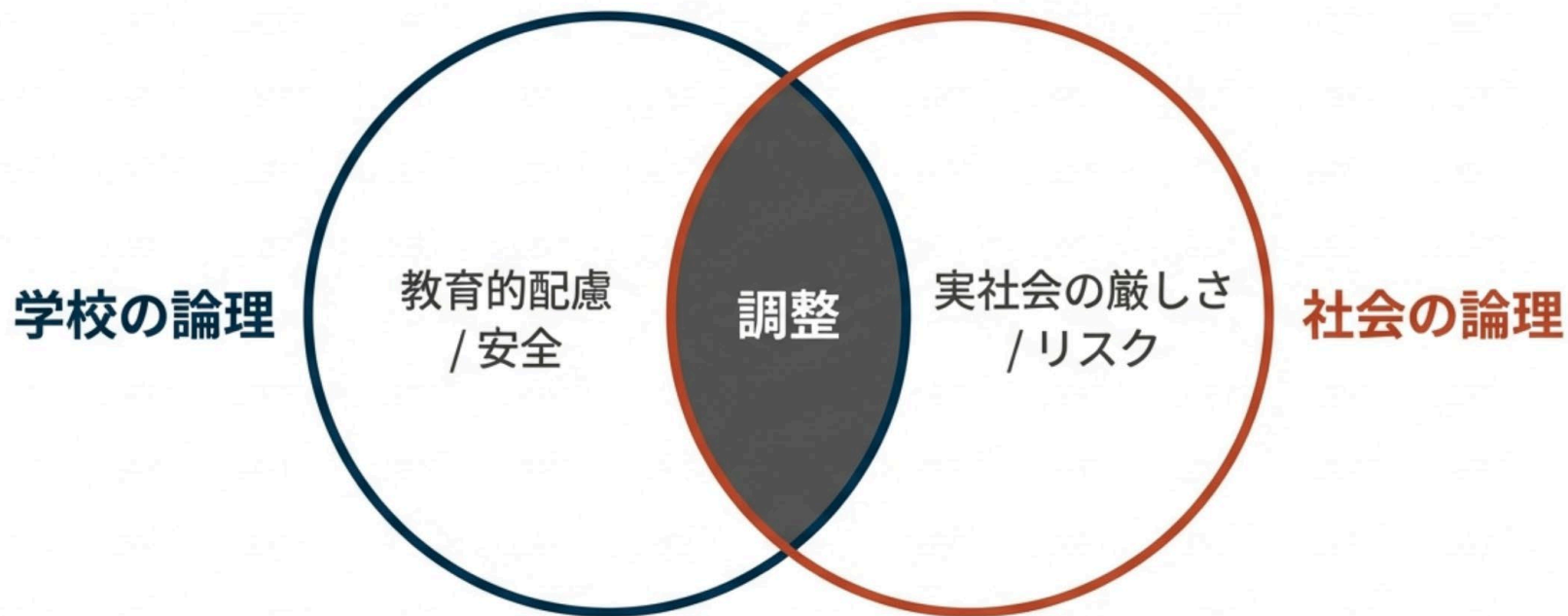
2. 相互理解を促す役割について

- ③「学校」×「社会」の連携体制の在り方

3. 持続可能な資金調達について

- ⑥探究の充実に向けた費用負担の在り方

組織間調整：教師と外部人材の「共通理解」



津南中等教育学校では、相互理解を促す役割を
学校内部の**総合学習・総合探究コーディネーター**
津南町が設置する**総合探究アドバイザー**が担う

キャリア形成意識と社会参画意識の高まるプロセスにおける支援者（コーディネーターの）の役割

＜相互理解を促す役割＞

- ① 探究学習の目的や目標のすり合わせを行う
- ② 学校・地域の関わり方の相互理解と調整を行う
- ③ 高校生の考えや実践に対応する際の共通のスタンスを共有する

【引用文献】

小見まいこ（2025）「探究学習における支援者の役割に関する考察-中等教育学校の事例からキャリア形成意識・社会参画意識の向上に着目して-」
日本高校教育学会年報、32号、pp.20-29

1. 教員と外部人材の役割分担

- ① 学校教育目標及び学校経営方針を踏まえた総合の推進等
- ② 「社会」×「子供」の関わりの在り方

2. 相互理解を促す役割について

- ③ 「学校」×「社会」の連携体制の在り方

3. 持続可能な資金調達について

- ⑥ 探究の充実に向けた費用負担の在り方

3. 持続可能な資金調達について

【事例】

「津南中等を支援する会」による資金を含めた探究学習の支援

- ・ 廃校の危機を契機に、地域住民中心に組織（任意団体）
- ・ 会費・寄付を集めて、事業を実施



津南中等の探究学習の支援

- ・ アドバイス
- ・ コーディネート
- ・ 活動経費の補助



教職員への研修支援



津南中等と合同による探究成果発表会の実施